

●まちづくりの芽の発見

「批判から提言へ、提言から行動へ」という言葉が示すように、まちづくりの課題の発見から解決（発見・協議・計画・合意・理解・実践・評価）まで、住民が主体的にまちづくりに参画することが期待されます。

住民主体の地域のまちづくり（事例）

STEP 1(第1段階)

まちづくりの芽・まちづくりの課題発見

隣近所・町内・自治会・各種団体
・市民活動団体など



STEP 2(第2段階)

地域で協議

隣近所・市民活動団体→町内→各種団体・自治会
→自治的地域コミュニティなど



STEP 3(第3段階)

地域として取り組む課題をピックアップ

「ポイ捨てのないきれいなまちにしたい」「あいさつ運動をやろう」「子どもをみんなで見守ろう」「高齢者に優しいまちにしたい」など



STEP 4(第4段階)

「地域が主体となって解決する課題」と「行政との協働で解決する課題」を区分

STEP 5(第5段階)



主として地域が中心となって解決する課題 <市民相互の協働>

「ペットの糞害防止」
「ごみ出しルールの徹底」など



- ・地域の連携
- ・住民周知
- ・市の支援制度や協働制度の活用
アダプト・プログラム
みんなでつくる“ホッとタウン”
プロジェクトなど

STEP 5(第5段階)



行政との協働で解決すべき課題 <市民と行政の協働>

「夜道が暗く、安心して歩けない」
「バリアフリーのまちにしたい」など



- ・ともに考える「場」の設定
出前講座・出前トークなど
- ・市の支援制度・協働制度の活用
みんなでつくる“ホッとタウン”
プロジェクトなど

『住民主体の地域のまちづくり』の図

コ ラ ム

“地域力”とは

地域の持つ資源、安全・安心の環境、子育て・教育環境、公共マナーやまちづくりに対する住民意識など、あらゆる分野において、より高いレベルを目指しながら、地域の魅力や良好な環境をかもし出し、築き上げることによって培われる地域の力。これを担う住民の力は、住民力・市民力とも言えます。これらが積み重なって、岐阜市全体の地域力も形成されます。